

ひよひびじ

企業探訪

2023 学生が聞く

2

JR姫路駅の名物となつて
いる「えきそば」を手がける
食品会社。100000(明治21)
年創業の老舗だ。新型コロナ
ウイルス禍を経て、出来たて
商品にこだわりながら、自宅
で食べられる冷凍弁当をつく
るなど新たな挑戦を続けてい
る。武庫川女子大の平井拓己
准教授のゼミ生が、竹田典高
社長(42)を訪ねた。

—最近の動向は。

「弁当で始まり135年。
私で6代目です。大事にして
いるのは、食べ物屋としての
軸。えきそばは店舗を増やし
て、百貨店や高速道路のパ
キングエリアにも展開し、姫
路以外に大阪や奈良でも提供
しています。あなごを目の前
であぶってお出する『ただけ
だの穴子めし』も催事などで
好評いただいています」
—冷凍弁当にも力を注いで

まねき食品(姫路市)

竹田典高社長(42)



えきそばを移動販売できるキッチンカ
ーの前で、まねき食品の竹田典高社長
(左)に事業展開を聞く武庫川女子大3
年の藤原史織さん(右)姫路市北条

いる。

「新型コロナウィルス禍の
時に、冷凍弁当を開発しまし
た。遠い所のお客さんにも楽

メモ 従業員512人、資本金6700万
円、売上高は約38億円(2022年
8月期)。今春の採用実績は大卒1人
を含む計8人。来春の予定は大卒1人、
高卒3人。姫路市北条953。☎079・224
・0255



しんでいただけ。ベンチャ
ーと組んで低糖質な冷凍弁当
などもつくっています。最近
では輸出も始め、海外で日本
の駅弁を楽しんでいただいて
います」

—他企業とタッグを組むこ
ともある。

「崎陽軒の『シウマイ弁当』

食で地元経済盛り上げ

とコラボして、おだしが効い
た『関西シウマイ弁当』を特
別につくりました。冷凍弁当
ですが『ピラテキのカワムラ』
さんと高級路線の商品も出し
ました。商品の提供の仕方は
さまざま考えていきますが、
一方で守るべきものもある。
味です。おいしく安全なもの
をお出しすることを大事に
し、地元経済を盛り上げたい
ですね」

—求める人材は。

「来年はえきそばが販売か
ら75周年となる。ムーブメン
トを起こすつもりです。すべ
てに感謝でき、挑戦でき、前
向きな方に入社していただき
たいですね」

(まとめ・大盛周平)



人気上昇中の「ただけの穴
子めし」(まねき食品提供)